

# KAWARABAN

Vol.37

2012年6月

MIA多言語かわら版  
瓦版 MIA 多语种信息报  
MIA 다언어 카와라 판  
MIA's Multilingual Publication  
MIA Informativo Multilingue



宮城県国際化協会  
미야기현 국제화 협회  
Miyagi International Association  
Associação Internacional de Miyagi



## ◆新しい在留管理制度が始まります!◆

2012年7月9日(月)から新しい在留管理制度が始まります。

対象となるのは、日本に中・長期間在留する外国人(「中長期在留者:ちゅうちょうきざいりゅうしゃ」といいます)です。宮城県内に多く暮らす、「永住」「日本人の配偶者等」「留学」の資格の方々もこの制度の対象になります。

いつ、どんな手続きが必要なのか、新しい制度について知っておきましょう。

## 中国語◆新的在留管理制度将开始实施!◆

新的在留管理制度将从 2012 年 7 月 9 日(星期一)起开始实施。实施对象为在日本中・长期居留的外国人。(日语称为:「中長期在留者:ちゅうちょうきざいりゅうしゃ」)居住在宫城县内的许多持永住、日本人配偶、留学在留资格的人都将成为新制度的对象。

什么时候开始办理、需要办什么样的手续? 让我们一起了解一下吧。

## 韓国語

### ◆새로운 체류관리제도가 시작됩니다!◆

2012년 7월 9일(월)부터 새로운 체류관리제도가 시작됩니다.

대상자는 일본에 중, 장기간 체류하는 외국인(「중장기 체류자」라고 합니다)입니다. 미야기현 내에 많이 사시는 ‘영주’ ‘일본인의 배우자 등’ ‘유학’의 자격을 가진 분들도 이 제도의 대상이 됩니다.

언제, 어떤 절차가 필요한지 새로운 제도에 대해서 알아 둡시다.

## 英語 ◆The New Residency Management System will Begin!◆

The new residency management system will begin Monday, July 9<sup>th</sup>, 2012.

The new system will apply for “mid- to long-term residents” (called *Chuchouki Zairyusha*). There are many people residing in Miyagi under “Permanent Resident,” “Spouse or Child of Japanese National,” “Student” statuses. These people are subject to this system.

Let's learn about the new system and when and what procedures are necessary.

## ポルトガル語

### ◆Novo Sistema de Controle de Permanência!◆

A partir do dia 9 de julho de 2012 entrará em vigor o Novo Sistema de Controle de Permanência para os estrangeiros.

O Novo Sistema visa gerenciar a residência dos estrangeiros que residem no Japão durante períodos de médio a longo prazo com status de residente (“residentes de médio-longo período” (*chuchoki zairyu-sha* ou *seja*)). “Residência permanente (*Eiju*)”, “Cônjuge de japonês e outros (*Nihonjin no Haigusha*)”, “Estudantes estrangeiros (*Ryugaku*)” bolsistas serão adequadas este sistema.

Vamos conhecer mais sobre este sistema.

## ～おしらせ～



- ♣ MIA ブログ読んでね。(日本語のみ)
- ♣ 请看 MIA 博客(只有日语版)
- ♣ MIA 블로그 읽어 보세요.(일본어 만)
- ♣ Vejam também o blog do MIA!(somente em japonês)
- ♣ Check out MIA's Blog! (only in Japanese)

<http://www.mia-miyagi.jp/blog/>

## 日本語



### ■ポイント1：「在留カード」が交付されます

#### ●在留カードについて

**中長期在留者**(※表紙参照)は、日本に上陸する時、在留資格を変更する時、在留期間を更新する時など、在留に関わる許可を得るたびに新しい「在留カード」が交付されます。

在留カードには、偽造や変造を防ぐために IC チップがついています。このチップには、カードに記載された内容の全部、または一部が記録されます。

#### ●在留カードの有効期限

在留カードにも有効期限があります。交付されたらカードに書いてある期限を確認しておきましょう。

**永住者** 16歳以上→交付から7年間

16歳未満→16歳の誕生日まで

**永住者以外** 16歳以上→在留期間の満了日まで

16歳未満→在留期間の満了日または、16歳の誕生日のいずれか早い日まで

☞外国人登録証から在留カードへの切り替えについては、ポイント4を読んでください。

### ■ポイント2：在留期間が最長5年になります

「日本人の配偶者等」「永住者の配偶者等」「人文知識・国際業務」などの在留資格を持っている人の在留期間が、最長で5年になります。

また、在留資格によっては「3か月」の在留期間も新たに設けられましたが、この在留期間の人には在留カードは交付されません。

### ■ポイント3：再入国許可の制度が変わります

#### ★「みなし再入国許可」制度ができます

有効なパスポートおよび、在留カードを持っている人が出国する際、出国後1年以内に再入国する場合は、原則として再入国許可を受ける必要がなくなります。この制度を「みなし再入国許可」といいます。出国する際に、必ず在留カードを提示してください。

「みなし再入国許可」により出国した人は、その有効期間を海外で延長することはできません。出国後、1年以内に再入国しないと、在留資格が失われますので、気をつけてください。

「在留カードを後日交付する」と書かれたパスポートや、「在留カード」とみなされる「外国人登録証明書」を持っている場合にも、「みなし再入国許可」の対象となります。

在留期間が1年未満の場合は、その在留期間までに再入国してください。

#### ●再入国許可の有効期間の伸長

「みなし再入国許可」ではなく、入国管理局で再入国許可申請を行う場合、有効期間の上限が、今までの「3年」から「5年」になります。

### ■ポイント4：外国人登録制度が廃止されます

#### ●在留カードへの切り替え

新しい制度が導入されても、すぐに現在持っている外国人登録証明書を在留カードに切り替える必要はありません。一定期間は、外国人登録証明書が在留カードとみなされます。ただし、希望する場合は、入国管理局で手続きを行えば、早めに切り替えることもできます。

#### ●外国人登録証明書が在留カードとみなされる期間

**永住者** 16歳以上 2015年7月8日まで

16歳未満 2015年7月8日または、16歳の誕生日のどちらか早い日まで

**特定活動**(特定研究活動等により「5年」の在留期間が与えられた人)

16歳以上 在留期間の満了日または、2015年7月8日のどちらか早い日まで

16歳未満 在留期間の満了日、2015年7月8日または、16歳の誕生日のいずれか早い日まで

**それ以外の在留資格** 16歳以上 在留期間の満了日

16歳未満 在留期間の満了日または、16歳の誕生日のいずれか早い日まで



#### 【特別永住者の制度について】

特別永住者の方は、新しい在留管理制度の変更の対象とはならず、以下のように変わります。

・「外国人登録証明書」が廃止され、「特別永住者証明書」が交付されます。交付される場所は、従来どおり市区町村の窓口です。

・「みなし再入国許可」が導入され、出国の際に、出国後2年以内に再入国することを伝えると、原則として再入国許可を受ける必要がなくなります。

・再入国許可の有効期間の上限が、今までの「4年」から「6年」になります。

## 新しい在留管理制度に関する問い合わせ先など

### 【外国人在留総合インフォメーションセンター】

時 間：平日 午前 8:30～午後 5:15  
対応言語：日本語／英語／中国語／韓国語／スペイン語／ポルトガル語  
☎0570-013904 ☎03-5796-7112 (IP 電話／PHS／海外から)

### 【仙台入国管理局】

仙台市宮城野区五輪 1-3-20 ☎022-256-6076

電話での問い合わせは日本語のみとなりますが、窓口では、以下のスケジュールで多言語対応を行っています。

英語（毎日）／中国語（月・水・金）／韓国語（月・火・木）／スペイン語（金）

### 【法務省入国管理局】

[http://www.immi-moj.go.jp/newimmiact\\_1/index.html](http://www.immi-moj.go.jp/newimmiact_1/index.html)（←または、検索サイトで「新しい在留管理制度」で検索してください。）多言語の電子パンフレットがダウンロードできます。あわせて新しい在留管理制度について分かりやすく説明している政府インターネットテレビの視聴もできます。

対応言語：日本語／英語／中国語／韓国語／スペイン語／ポルトガル語



〈入国管理局作成  
電子パンフレット〉

## 中 文

### ■要点 1：发给「在留卡」

#### ●关于在留卡

中长期在留者（※参照封面）在日本入境时或申请在留资格变更、在留期限更新等与在留有关的许可时，可领到新「在留卡」。

在留卡里装有防伪造的 IC 晶片，上面载有在留卡上所记载内容的全部或一部分。

#### ●在留卡的有效期限

在留卡具有有效期限。领到在留卡时要确认其上记载的有效期限。

永 住 者 16 岁及 16 岁以上者 → 领卡后 7 年

16 岁以下者 → 16 岁生日为止

永住者以外 16 岁及 16 岁以上者 → 在留期间届满日

16 岁以下者 → 在留期间届满日和 16 岁生日，两者中较早日期

☞关于如何把外国人登录证更换为在留卡，请参看要点 4。



### ■要点 2：在留期限延长到最长 5 年

持「日本人配偶等」「永住者配偶等」「人文知识・国际业务」等在留资格的人的在留期限延长到最长 5 年。

另外，对个别几种在留资格新设定了「3 个月」的在留期间，但对其不放在留卡。

### ■要点 3：再入国许可制度将有变更

#### ★导入「视同再入国」制度

持有效护照及在留卡的人出境时，自出境起一年之内再入国的情况下，原则上不需要办理再入国许可的手续。这个制度称为「视同再入国许可」。出国时，请一定出示在留卡。

以「视同再入国许可」出境的人，不能在国外办理有效期限的延长。出境后一年之内如果不再入境、将会丧失在留资格。请予以注意。

持记载有「改日发放在留卡」的护照及持被视为在留卡的外国人登录证的人，也属于视同再入国许可制度的对象。在留期限不满一年时，请在在留期限内再入国。

#### ●再入国许可有效期限的延长

对在入国管理局申请再入国许可，而不是「视同再入国许可」的人，其有效期限从至今的「3 年」延长到「5 年」。

### ■要点 4：废止外国人登录制度

#### ●更换为在留卡

新制度开始后，所持的外国人登录证并不需要马上更换为在留卡。在一定期间内，外国人登录证可被视为在留卡。不过，根据您的意愿，在入国管理局办理手续，也可早日更换。

#### ●外国人登录证被视为在留卡的期限

16 岁及 16 岁以上者：截至 2015 年 7 月 8 日

16 岁以下者：截至 2015 年 7 月 8 日、或 16 岁生日，两者中较早日期

特定活动（因特定研究活动而被赋予 5 年在留期限者）

16 岁及 16 岁以上者：截至在留期间届满日、或 2015 年 7 月 8 日，两者中较早日期

16 岁以下者：截至在留期间届满日、2015 年 7 月 8 日、16 岁生日三者中较早日期

## 其他在留资格

- 16岁及16岁以上者：截至在留期限届满日
- 16岁以下者：截至在留期间届满日、16岁生日，两者中较早日期。

### 〔关于特别永住者〕

特别永住者不属于新的在留管理制度变更的对象，但对其有如下变更。

- 废止「外国人登录证」、更换为「特别永住证」。更换地点、与以前一样在市区町村的窗口。
- 导入「视同在入国」。出境时，如说明2年之内会再入国的话、原则上不需办理再入国许可手续。
- 再入国许可的有效期限的上限、由原来的「4年」改为「6年」。

## 关于新在留管理制度的咨询等

### 【外国人在留综合信息中心】

时间：平常日 上午8:30~下午5:15  
 所用语言：日语 / 英语 / 汉语 / 韩国语 / 西班牙语 / 葡萄牙语  
 ☎0570-013904  
 ☎03-5796-7112 (IP电话 / PHS / 海外)

### 【仙台入国管理局】

仙台市宫城野区五轮 1-3-20 ☎022-256-6076  
 电话咨询仅限日语，但咨询窗口按下面的时间以多语种对应  
 英语(每天) / 汉语(星期一·三·五) / 韩国语(星期一·二·四) / 西班牙语(星期五)

### 【法务省入国管理局】

中文版电子小册子可以下载。  
[http://www.immi-moj.go.jp/newimmiact\\_1/zh-CN/index.html](http://www.immi-moj.go.jp/newimmiact_1/zh-CN/index.html) (←或用「新的在留管理制度」检索。)

### 【政府网上频道】

此频道对新的在留管理制度进行了通俗易懂的说明。  
<http://nettv.gov-online.go.jp/eng/prg/prg2671.html>



## 한국어

### ■ 포인트 1 : '체류카드'가 교부됩니다

#### ● 체류카드에 대하여

증장기 체류자(※표지참조)는 일본에 상륙할 때, 체류자격을 변경할 때, 체류기간을 갱신할 때 등 체류에 관한 허가를 받을 때마다 새로운 '체류카드'를 교부받습니다.

체류카드에는 위장이나 변조를 막기 위하여 IC 칩이 달려 있습니다. 이 칩에는 카드에 기재된 내용 전부, 또는 일부가 기재됩니다.

#### ● 체류카드의 유효기한

체류카드에도 유효기한이 있습니다. 교부된 카드에 적힌 기한을 확인해 둡시다.

영주자 16세이상→교부로부터 7년간  
 16세미만→16세 생일까지

영주자 이외 16세이상→체류기간 만료일까지  
 16세미만→체류기간 만료일, 또는 16세 생일 중 빠른 시일까지

☞ 외국인등록증명서를 체류카드로 전환함에 대해서는 포인트 4를 읽어 보시기 바랍니다.



### ■ 포인트 2 : 체류기간이 최장 5년이 됩니다

'일본인의 배우자 등' '영주자의 배우자 등' '인문지식, 국제업무' 등의 체류자격을 가진 분의 체류기간이 최대 길게는 5년이 됩니다.

또한 체류자격의 종류에 따라서는 '3개월'이라는 체류기간도 신설됩니다만 이 경우에는 체류카드가 교부되지 않습니다.

### ■ 포인트 3 : 재입국허가제도가 바뀝니다

#### ★ '간소화된 재입국 허가' 제도가 신설됩니다

유효한 여권 및 체류카드를 가진 분이 출국할 때, 출국후 1년 이내에 재입국할 경우에는 원칙적으로 재입국 허가를 받을 필요가 없게 됩니다. 이 제도를 '간소화된 재입국 허가'라고 합니다. 출국할 때에 체류카드를 반드시 제시하십시오.

‘간소화된 재입국 허가’로 출국한 경우, 그 유효기간을 해외에서 연장할 수 없습니다. 출국후 1년 이내에 재입국하지 않으면 체류자격을 잃게 됨으로 주의하시기 바랍니다.

‘체류카드를 후일 교부함’이라고 적힌 여권이나 ‘체류카드’로 간주되는 ‘외국인등록증’을 가지고 있을 경우에도 ‘간소화된 재입국 허가’의 대상이 됩니다.

체류기한이 1년 미만일 경우에는 그 체류기한까지 재입국하시기 바랍니다.

●재입국 허가의 유효기간 신장

‘간소화된 재입국’이 아니라 입국관리국에서 재입국 허가를 신청할 경우, 유효기간 상한(위쪽 한계)이 지금까지 ‘3년’이었던 것이 ‘5년’이 됩니다.

■포인트 4 : 외국인등록제도가 폐지됩니다

●체류카드로의 전환

새로운 제도가 도입되더라도 지금 가지고 있는 외국인등록증명서를 즉시 전환할 필요는 없습니다. 일정기간은 외국인등록증명서가 체류카드로 간주됩니다. 다만, 희망할 경우에는 입국관리국에서 수속을 하시면 일찍 전환할 수 있습니다.

●외국인등록증명서가 체류카드로 간주될 기간

영주자

16 세이상 2015년 7월 8일까지

16 세미만 2015년 7월 8일, 또는 16 세 생일 중 빠른 시일까지

특정활동 (특정연구활동 등에 의하여 ‘5년’의 체류기간이 주어진 분)

16 세이상 체류기간 만료일, 또는 2015년 7월 8일 중 빠른 시일까지

16 세미만 체류기간 만료일, 2015년 7월 8일, 또는 16 세 생일 중 빠른 시일까지

그 이외의 체류자격

16 세이상 체류기간 만료일

16 세미만 체류기간 만료일, 또는 16 세 생일 중 빠른 시일까지



【특별영주자에 관한 제도에 대하여】

특별영주자 분들은 지금까지 소개한 제도 변경의 대상이 되지 않고 다음과 같이 변경됩니다.

· ‘외국인등록증명서’가 폐지되고 ‘특별영주자증명서’가 교부됩니다. 교부 장소는 종래와 같이 시·구·정·촌 (市区町村) 창구입니다.

· ‘간소화된 재입국 제도’가 도입된 후, 출국할 때에 출국후 2년 이내에 재입국할 것이라고 말하면 원칙적으로 재입국 허가를 받을 필요가 없게 됩니다.

· 재입국 허가 유효기간의 상한(위쪽 한계)이 지금까지 ‘4년’이었던 것이 ‘6년’이 됩니다.

새로운 체류관리제도에 관한 문의처 등

【외국인체류종합인포메이션센터】

시간: 평일 오전 8:30~오후 5:15

대응언어: 일본어 / 영어 / 중국어 / 한국어 / 스페인어 / 포르투갈어

☎0570-013904 ☎03-5796-7112 (IP 전화 / PHS / 해외에서)

【센다이 입국관리국】

센다이시 미야기노쿠 고린 1-3-20 ☎022-256-6076

전화로는 일본어만 문의가 가능하지만 창구에서는 아래와 같은 일정으로 다언어로 문의하실 수 있습니다.

영어 (매일) / 중국어 (월·수·금) / 한국어 (월·화·목) / 스페인어 (금)

【법무성 입국관리국】

한국어 전자팸프릿을 다운받을 수 있습니다

[http://www.immi-moj.go.jp/newimmiaact\\_1/ko/index.html](http://www.immi-moj.go.jp/newimmiaact_1/ko/index.html) (←또는 검색사이트에서 「새로운 체류관리 제도」를 검색하시기 바랍니다.)

【정부 인터넷 텔레비전】

새로운 체류관리제도에 대하여 알기 쉽게 설명하고 있습니다.

<http://nettv.gov-online.go.jp/eng/prg/prg2670.html>



<입국관리국작성 전자팸프릿>



## Português

### ■ Obs.1 Emissão de um : será emitido um “Cartão de Permanência”

#### ● O que vem a ser o Cartão de Permanência

Será emitido um novo cartão para residentes de médio-longo período (vide explicações detalhadas) nos exames de autorização de desembarque a cada entrada no país, nas mudanças de status do visto, renovação de período de permanência.

O Cartão de Residente terá um microchip para evitar falsificações. O microchip contém informações pessoais do residente.

#### ● O Cartão de Permanência terá um prazo de validade

O Cartão de Permanência terá um prazo de validade. Preste atenção no prazo de validade determinado.



##### Residentes Permanentes

Mais de 16 anos de idade → 7 anos desde o dia da emissão

Menos de 16 anos de idade → Até a data de aniversário de 16 anos

##### Outros

Mais de 16 anos de idade → Até o dia do término do período de permanência

Menos de 16 anos de idade → Até o dia mais cedo: Dia do término do período de permanência ou o dia de aniversário de 16 anos

☞ sobre o **Cartão de Registro de Estrangeiro** Veja Obs 4 sobre a Troca para o **Cartão de Permanência**.

### ■ Obs.2 : O prazo máximo de permanência será prolongado para até 5 anos

As pessoas que possuem os vistos de “Cônjuge de japonês e outros” “Cônjuge de pessoa com visto permanente e outros” Vistos de trabalho como “Conhecimentos da Humanidade / Serviços Internacionais”, passam a ter o período máximo de permanência de 5 anos.

Para vistos de “3 meses” será adotado um novo statu de permânencia. Não será emitido o Cartão de Permanência para vistos de “3 meses”.

### ■ Obs.3 : O sistema de permissão de reentrada mudará

#### ★ Será introduzido a “Permissão de Reentrada Considerada ( Minashi Sainyukoku Kyoka )”

Quando os estrangeiros que possuem o passaporte válido ou cartão de Permanência forem retornar para continuar suas atividades no Japão dentro de 1 ano, após sua saída, como regra não será necessário obter permissão de reentrada no momento de sair do Japão. Será introduzido como lei o “Sistema de Permissão Considerada”. Na saída do país é necessário apresentar este documento.

As pessoas que saírem do país com “Permissão de Reentrada Considerada”, não poderão prolongar este período de validade no estrangeiro. Tome cuidado pois se não retornar dentro de um ano após a saída do Japão, a validade do visto será anulada.

No caso de possuir o passaporte com a descrição: “o Cartão de permanência sera emitido posteriormente” ou o “certificado de registro de estrangeiro” que pode ser considerado como “Cartão de permanência”, será adequado também ao ao sistema de “Permissão de Reentrada Considerada”.

No caso de atingir o limite de período de permanência em menos de um ano após a saída do país, retorne ao Japão até a data do limite do período de permanência.

#### ● O limite de validade do período de permissão de reentrada

Após a data da implementação do novo sistema o limite do período de validade da permissão de reentrada será prolongado de “3 anos” para “5 anos”.

### ■ Obs.4 : O Sistema de Registro de Estrangeiro será abolido

#### ● Mudança para o Cartão de Residente

Não há necessidade de fazer a mudança do Cartão de Registro de Estrangeiro para o Cartão de Permanência tão logo o novo sistema venha a vigorar. O Cartão de Registro de Estrangeiro será considerado Cartão de Permanência por um período determinado. Mas caso deseje você poderá providenciar o novo cartão no Escritório da Imigração.

#### ● Período que o Cartão de Registro de Estrangeiro será considerado como Cartão de Permanência

##### Pessoas com Visto Permanente

Mais de 16 anos de idade Até 8 de julho de 2015

Menos de 16 anos de idade Até o dia mais cedo: dia 8 de julho de 2015 ou o dia do aniversário de 16 anos

**Atividade específica** (somente para as pessoas para as quais foi atribuído o período de permanência de “5 anos”] devido às atividades específicas de pesquisa, etc.)

Mais de 16 anos de idade Até o dia mais cedo: dia do término do período de permanência ou o dia 8 de julho de 2015

Menos de 16 anos de idade Até o dia mais cedo: dia do término do período de permanência, dia 8 de julho de 2015 ou o dia do aniversário de 16 anos

#### Outros Vistos

Mais de 16 anos de idade Dia do término do período de permanência

Menos de 16 anos de idade Até o dia mais cedo: Dia do término do período de permanência ou o dia de aniversário de 16 anos

## Informação do Novo sistema de Controle de Permanência

### 【Centro de Informações dos Estrangeiros residentes】

Horário : Dias úteis 8:30 da manhã 5:15 da tarde

Línguas : Japonês/Inglês/Chinês/Coreano/Espanhol/Português

☎0570-013904 ☎03-5796-7112 (Telefone/PHS/Do exterior)

### 【Escritório da Imigração de Sendai】

Sendai-shi, Miyagino-ku Gorin1-3-20 ☎022-256-6076

Informações por telefone somente em japonês, e diretamente nos balcões nas línguas abaixo:

Inglês (Todos os dias)/Chinês(segundas • quartas • sextas)/Coreano(Segundas • Terças • Quintas)  
/Espanhol(Sextas)

### 【Escritório do Ministério da Justiça】

É possível baixar pelo computador um panfleto guia em várias línguas.

[http://www.immi-moj.go.jp/newimmiact\\_1/pt/index.html](http://www.immi-moj.go.jp/newimmiact_1/pt/index.html) (←ou procure “Novo Sistema de Controle de Permanência no Japão”)

### 【Explicação em vídeo】

Além disso é possível assistir um vídeo explicativos a respeito do novo sistema.

<http://nettv.gov-online.go.jp/eng/prg/prg2669.html>



〈Panfleto do Setor de Imigração〉



## English

### ■Point 1: A resident card will be issued

#### ●Resident cards

When Mid- to Long-term Residents (※refer to the cover page) receive permission related to their residency, such as entering Japan, changing their resident status, or renewing their period of stay, they will be issued a “resident card.” All or part of the information printed on the resident card will be recorded in an IC chip to prevent the card from being forged or altered.

#### ●Validity periods of resident cards

Resident cards will have a period of validity. Be sure to confirm the validity period written on the card.

##### Permanent Residents

16 years or older → 7 years from date of issuance

Less than 16 years old → Until 16<sup>th</sup> birthday

##### Persons other than Permanent Residents

16 years or older → The expiration date of the period of stay

Less than 16 years old → The expiration date of the period of stay or the person’s 16<sup>th</sup> birthday, whichever comes first

☞For information on how to switch from **an alien registration certificate** to **a resident card**, see Point 4.

### ■Point 2: The period of stay will be extended to a maximum of 5 years

The maximum period of stay for “Spouse or Child of Japanese National,” “Spouse or Child of Permanent Resident,” “Specialist in Humanities/International Services”, etc. will be extended to 5 years.

Additionally, a “3 months” period of stay has also been created for some statuses of residence, however resident cards will not be issued for people with this period of stay.

### ■Point 3: The re-entry permit system will be changed

#### ★A “Special Re-entry Permit” system will be introduced

Foreign nationals in possession of a valid passport and resident card who re-enter Japan within 1 year of their departure will, in principle, not be required to apply for a re-entry permit. This is called a special re-entry permit. Be sure to present your resident card at departure.

Persons who depart Japan on a special re-entry permit will not be able to extend that permit while abroad. Please note, those who do not re-enter Japan within 1 year will lose their resident status. The special re-entry permit system also applies to those in possession of a passport stating “Resident card to be issued later” or an alien registration certificate deemed equivalent to a resident card. If your period of stay expires within 1 year after your departure, be sure to re-enter Japan before the expiration of your period of stay.

● **Extension of the re-entry permit validity period**

When applying for a re-entry permit at the Immigration Bureau (rather than using the special re-entry permit system), the maximum validity period has been extended from “3 years” to “5 years”.

■ **Point 4: The alien registration system will be abolished**

● **Switching to a resident card**

It is not necessary for foreign nationals to immediately switch their current alien registration certificates to resident cards. For a period, alien registration certificates will be deemed equivalent to resident cards. It is possible to undergo procedures to switch early at the Immigration Bureau.

● **Period in which an alien registration certificate is deemed equivalent to a resident card**

**Permanent Resident**

16 years or older                      Until July 8, 2015  
 Less than 16 years old              July 8, 2015 or the person’s 16<sup>th</sup> birthday, whichever comes first

**Designated Activities** (Those granted permission to stay for 5 years for specified research activities, etc)

16 years or older                      The expiration date of the period of stay or July 8, 2015, whichever comes first  
 Less than 16 years old              The expiration date of the period of stay, July 8, 2015 or the person’s 16<sup>th</sup> birthday, whichever comes first

**Other resident status**

16 years or older                      The expiration date of the period of stay  
 Less than 16 years old              The expiration date of the period of stay or the person’s 16<sup>th</sup> birthday, whichever comes first

**Contact Information regarding the New Residency Management System**

**【Immigration Information Center】**

Time: Weekdays, 8:30 am to 5:15 pm  
 Languages: Japanese / English / Chinese / Korean / Spanish / Portuguese  
 ☎0570-013904 ☎03-5796-7112 (IP phone / PHS / International Call)

**【Sendai Immigration Bureau】**

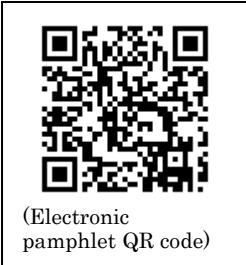
1-3-20, Gorin, Miyagino-ku, Sendai-shi ☎022-256-6076  
 Phone inquiries can only be dealt with in Japanese. Foreign language assistance is provided in person as per the following schedule.  
 English (daily) / Chinese (Mon, Wed, Fri) / Korean (Mon, Tues, Thurs) / Spanish (Fri)

**【Immigration Bureau of Japan】**

You can download an electronic multi-lingual pamphlet from this site.  
[http://www.immi-moj.go.jp/newimmiact\\_1/en/index.html](http://www.immi-moj.go.jp/newimmiact_1/en/index.html) (←or, search “new residency management system” on your browser)

**【Japanese Government Internet TV】**

You can view internet television to receive an easy to understand explanation of the new residency management system  
<http://nettv.gov-online.go.jp/eng/prg/prg2672.html>



「かわら版」とは、日本の江戸時代に作られていた、さまざまなニュースを一枚刷りにした印刷物のことです。  
 “瓦版”是日本江戸时代发行的一种出版品的名称。  
 「카와라판」이라는 것은 일본의 에도(江戸)시대에 만들어졌던 여러가지 뉴스를 한장의 종이에 나타낸 인쇄물을 말하는 것입니다.  
 “Kawaraban” was created during Japan’s Edo Period as a one sheet, printed material featuring different news.  
 “Kawaraban” foi criado durante o Período Japonês Edo como um folheto, onde eram impressos diversos artigos em formato semelhante aos atuais jornais.

MIA 多言語かわら版 Vol.37  
 編集・発行：公益財団法人宮城県国際化協会  
 (Miyagi International Association)  
 〒981-0914 仙台市青葉区堤通雨宮町 4-17  
 宮城県仙台合同庁舎 7 階  
 電話：022(275)3796 Fax：022(272)5063  
 E-mail：mail@mia-miyagi.jp.  
 Website：http://mia-miyagi.jp/